京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金廿錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久禎一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

種苗選擇に就きて（下）

式田生

一、…價少しく高きにせよ純良正確の種苗を求められなば其の生產する所必ず品質善良なるを以つて收穫するに當り一粒萬倍のみにあらざるべし之に反して價安しとて一時の利に迷ひ不正不純のものを求められんには所謂一文惜みの百知らずにて却て意外の損失を招くことあるを忘るべからず故に余は常に信用と保證ある東京本所向島東京園藝株式會社より購入し居れり而して常に新業者に向つてシカリ教示しつゝあるなり此れ羊頭を揭げて狗肉を鬻ぐ不正商賣あるがためなり今序を以て園藝會社を紹介し其の內容を示さんに社長は農科大學士にして取締役は西垣大[?]場技師農學士等にて株主は日本農事試驗場技師全般なりとす

一、種子養成は栽培地選擇に注意し他品種と花粉の交雜を防ぐため綿密なる注意あるべき事

一、栽培中は絶へず植物が巡視し疑はしき個性せるものあるを認めなば直ちに採棄すること

一、肥培、除草、採取、調製、貯藏に最も周到綿密の注意を加へ居ると否苗木に至りて外國種は最も信用ある大會社と保證付きのものを直接輸入し直に殺菌法を施行し居る事

其他種子の精撰種及び發芽試驗は時々施行し居るなり

●慈惠醫院費

朝鮮十三道に慈惠醫院を設け各道窮民を施療すべき計劃は併合以來寺內總督の最も意を用ゐし處にて將來各道に慈惠院の新設を爲し目下工事中のもの及び計畫中のものあるが來年度中には各道共全部竣成する成算にて其經費豫算は三十五萬二千三百八十一圓を計上せりと

●佛教各派の不振

朝鮮十三道（京城を除く）に於て內地人の經營する社寺及其出張所は百三十三個ありて經營者は各熱心に布教に從事するも多くは內地人に布教するものにして本願寺出張所の如きは近時漸く鮮人に對して布教に勉むると雖も言語を解せず且つ朝鮮の事情に通ぜざる爲め殆んど効なく十三道百三十三箇の各宗派を通じて鮮人信徒は僅かに三千五百七十餘名に過ぎずと云ふ

赤裸々主義（下）

法律の範圍內に於て、若くは道德の範圍內に於て跋扈化し變節し跋橫跋扈の主義を採るも何等の妨げを見ざるものと傲語する輩は蓋し泥水に沈めば泥色を滿足し糞汁に染まば糞臭も亦厭はずとするの徒なり、其意口地なく男らしからざること言語に絶せり、然して彼等は自ら許して法律道德の範圍內なりとするも、意口地なき氣慨なき性格は遂に厚顏無恥に變じ闘々しく道德の範圍を脫し、法律的制裁を受くるの行爲を演じつゝあり、吾人は切に此輩に向つて赤裸々主義を注入することの急務なるを見る 赤裸々は人間の本性なり性善說は卽ち人類の赤裸々なることを證明するものにあらずや、赤裸々は天眞なり、率直なり心中一點の疚しきなく鏡に面せる如き性格を云ふ、然して赤裸々が行爲の上に顯はれて始めて短刀直入となり獅子奮迅となる、率直にして社會に斥けらるゝか、奮迅的活動は自己の立場を作る能はざるか、吾人は否と絶叫せん、云ひ換へれば處世上に於ける赤裸々主義は活社會に於ける活法なるなからんや。迂回の効果時に見るべきあり、陰險主義の賜絕大なるありと雖も、そは頗る短かきものにして、加之淺く狹きものなり、四圍の境遇は自ら人類の性格を一變せしむべき魔力あるものなれども、若し確乎不拔、自己の信念に依つて猛進し最も赤裸々に其所信を貫かんか、よし一時の妨害ありとするも最後の勝利を獲得するを得べし機に應じて事に處せんとするは圭角なき行爲として喜ばれざれども遂に柔軟の弊に流れ兩股主義と嘲られ、榮花は槿花一朝の夢と消ねて一顧だもせられざる悲境に陷るべし、須く人性は赤裸々に經過せざるべからず陰險嫉視唯顏色をのみ懸念して得られたる僥倖が露めんとするの際に至りては確かに現社會の屑なり、吾人は斯る女性的男子を蛇蝎視し大に赤裸々主義の鼓吹に努めんとするもの也（大平洞隠士）

外事一束

▲解決 支那政府は二十日露國に答辯書を發す其內容は露國の要求六箇條全部を承認せしも是裏心不欣悦にして已むを得ず成せしとの說明書を添付す。

▲承認 淸政府の露國要求承認要領は治外法權の件商業上必要の領事館設置の權利露人の土地家屋所有權等にして附屬國條約膨脹に不同意の旨宣言す。

▲臆測 北京に於て露對淸國の最終談判書は日露兩國一致せる攻進的侵略的政策の發展なりとの意見發表せられ倫敦タイムスは全然此觀察を非認せり。

▲多事 淸國四川總督は公電を以て二千以上の露兵淸領に入りし旨又趙駐藏大臣は英國軍隊西藏に入れる旨政府に打電せり東洋の老大國亦多事なる哉。

▲出兵 英國兵淸國雲南省方馬を占領し佛國官憲亦綠營警護の爲大兵を送れることを雲南總督より北京政府に報告す內外多事の淸政府困憊の狀や可憫。

▲獨帝 は英帝の御招ひにより故英女皇記念碑除幕式列席の爲來五月皇后同道倫敦に赴かれ二週間以上滯在の豫定尙英皇戴冠式には獨皇太子列席ある筈。

▲殺人 獨領西阿弗利加カメルーン州べア政廳にて書記吏發狂の結果同役なる二名の書記を射擊し之を殺害し其身亦自殺を遂げたり狂人掬濁共に危險也。

▲露國 政府は外國船舶に對し露領沿海州の沿岸航海を禁じ且支那船舶朝鮮船舶の營業を絕對に禁止すべき旨訓令せりと鼠疫豫防上注意到れり盡矣。

▲豫算 獨逸帝國議會は膠州灣豫算案を通過せり政府より與ふる補助金額七百五十五萬馬克同地殖民大進步の點議會に承認せらる獨國殖民は常に成功す。

○新刊紹介

▲新農報（第百四十六號） 有益なる農業雜誌にして文章平易を旨とし「副業たる養豚の利益」「肥料購買の注意」等の記事は當業者の見逃すべからざるもの也（一冊六錢大阪市北區上福島新農報社）

▲釜山商業會議所月報（第六號） 貿易業者は勿論一般商業家の好參考資料也（釜山商業會議所）

召使れ初（一〇九）

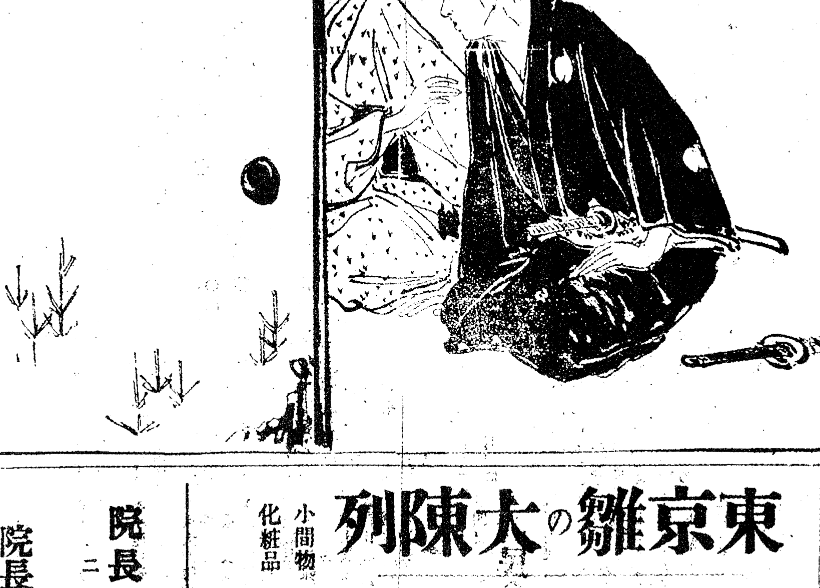
碧瑠璃園



「やい」と佐五右衞門は涙に光る目を瞪て「れのれそれへ出、不孝とも不義とも云ひやうのない愚者、何の面目あつて歸宅した、女ながられ道は喃」「父上、父上」と、佐十郎は慌しく、れ叱りは覺悟の前、女ながられ道の孝心は存じの上、くど〳〵承はる要もなければ、高い敷居跨ぎ、今日參上の用向の申し上げる、實は只今途中にて、逃進ならぬ義理合ひ生き、三四人を同道近所の料理店へ參る筈、所が囊中一文無く、さし詰め酒代にも悶ね、男の一分立ち難ねうる由つで、澤山とは申さぬ、銀子少々借用仰せ付け下されませぬか」「わい、わい」と佐五右衞門は歯を切り「何かと思へばその身口果報を致さう爲め、拙者腦を嘲らうと申す、言語同斷の口上、今の身上を何んと心得る浪人以來爲す事もなく、れ力賃仕事の收入を當、果敢無い露命を繋ぎ居る、今日も今日、これにて花見酒致さう餘裕も無ければ、一合の酒も買ひ難ね、れ盤頭の物質入にまで致したほどや、自分口欲を節し難ね、現在娘を泣かする事あつては、祖先御位牌へ對して澄ます、元來好物の酒なれど、以來は盃も手にすまじき覺悟、神明に誓ひを立てゝ、今日限り……」「御意見は重ねて承りまする、すると只今れ願ひ申し上げた事、れ背き入れこざりませぬか」「勿論の事、俺們の手許に、百文の融通も爲るど思ふかさ、佐五右衞門は涙さへ浮の「れ道は身の肉を割いても、孝道を全うしやうと勉むる、兄に生れながら其方は父の生血を絞る、左樣な不所存漢、以來は子とも思はぬ、七生まで勸當ぢや、すぐ立ち去れ」「私、御勘當と……」流石の佐十郎も、七生まで勸當の聲を聞きたる時、はつと胸に針さゝるゝ如く思ひたるが、思はず潤みたる眼を母に向け、「父上殊の外御立腹、此上願ひ申し上げるともれ背き入れはあるまいと心得まする、平生とは違ひ、三五人の伴侶もあり、銀子少々ござりませでは、私一分の廢たる處、母樣格別の思し召しを持たせられて、れ救ひの事協ひませぬか喃」「切角ぢやが喃、れ父樣の御思案にも諧はぬこと、私の手に成らう筈も無いわ喃」とれ力は悲しげにすり寄り「いかな義理合ひかは知らぬが、孝行に替ねる義理はない、まづれ父樣御機嫌の直るやう、謹んでれ詫をするぢや。」

「今日のれ詫は追ての事、さし迫つて私の手に扱はねば爲らぬ事ござります銀子無くばれ衣裝でも……」「れのれまだ云ふか」と佐五右衞門は今にも躍り蒐る氣色を見せ「世が世なれば役付も致す年輩、不孝の限りを盡すさへあるに、偶々歸つて母の衣服を剝ぎ取らうなど、以ての外の根性、顏を見るも目が穢るゝ、物を云ふも口が汚れる、向後敷居跨ぐこと相成らぬ」「それ彼の樣に御立腹、れ詫そしや」とれ力は側より氣を揉みて「ちと人らしう言ても好い年、そなた何故眼が覺めぬのであらうかの」

「れ背き入れ無いとあれば是非に及びませぬ、命に懸けても都合致さねばならぬ銀子、外々を駈け廻つて見ますると、佐十郎はそは〳〵と氣も沈着かず「これにて御免蒙りまする」佐五右衞門は他を顧みて物も云はず、れ力は悧れ顏に我子の後姿を見送りき、花の一ぴら蝶の舞ふ如く散り來る。



京城新報

不換紙幣の發行（一）

今や我半島は紛々たる政治的時代を脫過し、將さに經濟的時代に進入せんとして居る、經濟的時代之を換言すれば産業振興の時代だ、産業振興の時代に時代相應の施設を要する來よりの事だ、茲に於てか余輩は寺內總督の鐵道、港灣、道路等に關する新施設を最も必要なりと信ずる、嗚呼曾て韓國統監時代に於て夢と外思はれざりし産業開發の新施設は今や寺內總督の手に仍つて將さに實現せられんとして居る、茲に於てか余輩は我半島の前途が正さに多幸なるべきを信ぜんと欲する。

帝國議會豫算委員會に於ける寺內總督の說明に因れば前記鐵道、港灣、道路等の新事業に要する費用は三千五百萬圓だ、而して該三千五百萬圓は朝鮮事業公債を起して得んとするのであるのだ、如今內地に於ては半島經營に就いて多くの議論があるのだ、斯る際に於て我總督が國庫の支出を求めず、新たに朝鮮公債を起して新事業の費用を辯せんとするのは權道に失するの嫌はあるも實際より云へば策の得たるものだ、余輩は他年他日我朝鮮が今日に比して財政の餘裕を有すべきを信ずる、爾り百步を進めて財政の獨立を有し得らるべきを信ずる、故に事業公債償還の義務の如きは之を母國に嫁せずして寧ろ我自らが之を引受るの不可ならざるを信ずる、然れども茶種が蕪ど住持となる迄には相當の時日を要し、納所がなる迄には相當の年月を要するを思へば我朝鮮財政の事たる前途尙ほ遼遠の觀があるのである、夫れ爾り前途遼遠の觀を有す、而るに我朝鮮自身が事業公債償還の責に任ずとせば其償還期の長からざるべからざるは素より其所であるのである。

其議會を通過し實行の運に會すべきは近き將來に屬する、茲に於てか余輩の研究すべきは政府が如何なる方法に因つて該公債を處置せんとするかだ。

當局己に公債發行に意あり、其議會を通過し實行の運に會すべきは近き將來に屬する。

道路傳へ云ふ政府は朝鮮事業公債の引受者を韓國銀行と定むと、韓國銀行の引受、幷は該公債を保證準備としたる銀行券の發行を意味する、嗚呼斯る事情の下に發行せられたる銀行券が他日一種の不換紙幣と化すべきことは勢ひ免かるべからざるところだ、故に予輩は今に於て一言を辯する能はざるのであるのだ（以下次號）

▲東宮殿下還啓　葉山御用邸に御滯在中なりし皇太子殿下には昨日還啓あらせられ直に東宮御所に入らせられたり

（東京電報（廿四日））

▲衆議院の大紛擾　昨二十三日の衆議院本會議は國民黨の決議案を討議する爲めに秘密會議となり犬養代議士の演說に對し桂首相は敎科書は必要あらば改正すべしと辯明し元田肇氏討論終決の動議出でたる爲め大紛擾を起したるも九三に對する二〇一の多數にて否決となりたり

▲文相辭職せす　敎科書事件に關して小松原文相の辭職說あるも虛說なり

▲樞密院と學制案　豫て樞密院特別委員に附托中なる學制改革案に就て本日特別委員長芳川伯以下委員列席審議を遂げたる後一同天機を奉伺して退出したるが尙議了するに至らず

▲日米協約成立說　日米間に新協約成立したりとの說盛に傳へらる

▲大藏省證券償還　今廿四日償還期日に相當する大藏省證券二千五百萬圓は一般會計に屬する分一千五百萬圓を現金償還とし殘額鐵道會計に屬する分一千萬圓は日步一錢とし償還期を向ふ一箇月の條件を以て來月二十五日償還の大藏省證券三千萬圓と同時に償還する事に決定したり

▲政友會代議士會　例く民黨の決議案は政友會中にも敎科書事件に付ては贊成者あり同會代議士會に於て大問題となり一採めしたるも結局幹部に一任する事となりたり

▲韓國銀行株主總會　韓國銀行總會は本日午後一時より東京阪本町銀行集會所に於て開催されたるが政府の代表者として河內山事務官出席し定刻市原總裁の報告あり第一回拂込のことを告げ利益配當案に關して議する處ありしが原案通り六分配當のことに可決したり

▲產業中央會　產業組合中央會は來る四月二十五日より農商務省に於て開催する事に決定せり

●李王御東上內定　（東京電報）昌德宮李王殿下には春暖の候を期して御東上なさる由は昨年末より傳はりたるが愈々三月下旬を以て御出發なさることに內定したる由にて隨行員の重なるは李堈公、李完用伯、趙重應子等にして趙重應子は準備の爲め先發するならんと云ふ

●定例長官會議　二十四日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め倉富、木內、宇佐美の各部長官俵副總裁小松總務部長官代理鈴木度支部長官代理岡本遞小城鐵道副長代理及秋山參事官列席政務の打合せを爲し午後一時散會したり

半島の地方行政

小原內務地方局長談

地方行政に關する意見を叩くべく內務部地方局長小原新三氏を訪ふ氏曰く

▲不言實行を主義とする吾等官人は縱令多少の意見なきにしも非ざるが濫りに之を公表する能はざるを諒せよ若夫れ內地なれば知事の信任を得んか大に所見を表白し得べく而して之が爲に人心の歸嚮を知らしめ行政上却て裨益する場合多きも朝鮮の如き現狀の下に在ては徒らに他の誤解を招くのみにして何等利益なきが如し實に官人生活ほど世に窮窟なるものは非ざるべし然れども予は唯だ

▲朝鮮の行政に就て斯くなかるべからずと信ずるもの有り則ち任理由として治績の收め難きを唱ふるもの多きが如きも予をして之を言はしむれば金なくとも而かも能く經營に耐ゆる心掛けを望まんと欲す元來朝鮮の如き民度尙ほ甚だ低き地に在ては到底財政上の不足を免れず且つ之を實際に省みれば幾多資金を投ぜざるべからざるに財政窮乏を理由として其活動を惱まさんか遂に萬事休矣の外なかるべし故に地方に行政官たるものは

▲官吏的觀念を脫却して宜しく管下の人民と近接し懇ろに彼等を導き或は殖產に或は商工業に自動的の奮勵を促がさるべからず則ち牛官牛民の心掛けを以て進み苟くも杓子定規に拘泥すべからざるなり此頃或る地方に任ては恩賜金を拜せる耆老者相集まり御下賜の旨意を空ふせざらんと欲し該金を全部醵出して植林事業を開始せしか斯かる傾向あるは大に嘉みすべき所以にして謂はゞ彼等が自動的に發奮せる例證なり而して此の如く善良なる思慮既に實地に現出するを見ば如上地方行政に對し金なくとも治績を擧げ得べきを唱へ之を要求する必ずしも無理ならざるべし一西洋雜誌に朝鮮の現狀を評論せるを見るに朝鮮人は

▲系統立った盜賊なりと言へり蓋し過去の朝鮮に顧みる時は遺憾ながら其適評に首肯せざるを得ず而して朝鮮人の貧弱今日の如きを見るに到れるは此系統立つた泥坊の徘徊せる結果なり故に今後の統治を計らんには須らく其根絕を期し彼等の富力涵養を以て念とせざるべからずと云々

●地方行政と郡守　併合後地方行政は大に振興され殆んど從來の面目を更新せしが之と同時に因襲的に任命せる多數郡守中には如何はしきものあり隨て新政運用上重荷に堪へざるの感ありて既に辭職を申出でたるもの三十名以上に達したれば此機を以て當局者は一大英斷を行ひ根本的淘汰を試べしと聞く

●恩賜公債授與式　第二回授與式は二十四日午前十時より京畿道廳に於て擧行されたり倘ほ今回は二十四日二十五日二十七日及び二十八日の四日間午前午後共擧行する筈にして元度支部、內部、土地調查局、及農商工部等に奉仕したる勅任官、奏任官、判任官等合して約八百名なりと

●道郡參事詮衡　地方官々制に依り各道郡には學識名望ある朝鮮人を參事に任命すべき規定あり而して之に關する規程は過日漸く發布せられしが右參事は各道郡に於て物色し總督の認可を乞ふを要する手續にて目下稟申に隨ひ詮衡中なりと云ふ

●明石藤田出張　明石總長、藤田總督府醫院長は北里博士出迎の爲め今二十四日午前九時十分南大門驛發列車にて黃州へ出張せり

●北里博士の入京　滿洲に於けるペスト流行地巡視中なりし醫學博士北里柴三郞氏は二十四日午後十時十分南大門着列車にて入京す

●鮮北穀類輸入解禁　例江沿岸に在る稅關がペスト豫防の爲め仁川、間島、渾春より糧食品の輸入を禁止したる爲め江岸の人民が非常に困難したる由にて咸北警務部長と度支部との間に數回交涉したる結果同警務部より目下沿岸人民の最も苦痛を感ずるは間島渾春より輸入する糧食品中粟の禁止を解かれたし其他の食糧品は別段苦痛を感ぜざるも大豆の如きは商業上一般より影響を蒙りつゝあり

の報に接し度支部に於ては調查の結果或制限の下に禁ずることゝなし元山稅關長に宛て左の電報を發したり

一、間島渾春地方より輸入する穀類は特に病毒汚染の疑ひあるものを除くの外輸入を許すべし

●水產共進會計劃　南鮮地方殊に釜山唯一の富源たる水產物獎勵の爲め來春を期し水產共進會を開催する計劃にて同地有志者間に於て協議中の處昨今協議一決したるを以て釜山水產組合にては近々其の筋へ請願すべしと

●朝鮮米の新注文　瀨川駐屯軍經理部にては從來軍用米として白米を購入し來りたるが白米は貯藏の不便なるより今回仁川某所に玄米三千俵　指名納入を命じたれば目下頻りに現物の蒐集中なるが爲めに人氣稍々昂騰し居たりと

●京城衛生會新事業　內務部長官宇佐美勝夫氏の會長として組織を變更したる漢城衛生會は京城府內の衛生に關して專ら直接功獻せし處多く來年度の如きも內務部と相連繫して衛生事務を擴張すべく其費用は五萬五千四百九十一圓を以て計上せりといふ

●京城民團民會　京城民團民會は前回に於て全部職了する能はず則ち高橋章之助氏提出の市區改正に關する建議案及民團制改正に關する建議案を日程とし昨日午後二時より續會せり高橋氏先づ發言を求め詳細之を說明す曰く半島唯一の大都市として其面目を保たんには大々的市區改正の必要あり而して之が遂行に就ては多額の費用を要し到底吾が在留民の耐ゆべき限りに非ず故に國庫支辨の下に京城全市の改正を計られたし是れ本案提出の理由なりと述べ次で皆川氏より彼の朝鮮人町をも包含するやと質問し高橋氏之に答へ民團區域は城內一圓及城外何々と規定し在りとて統監府令を朗讀し夫より大村保太氏其他の質問續出せり然る後深水淸氏より本案は重大問題なれば宜しく先づ協議會に付し各員の意見を統一したる上更に本會の問題たらしめんとの動機出づ中島氏之に贊したるが皆川氏之を破し協議會なるものは民團制に規定なし故に採用すべからずと述べ更に該案反對說を唱へ其他贊否の論議々底止する處を知らざるを以て十五分間の休憩を宣し休憩中提案者と協議の上該案を撤回し更に前案の字句を修正し、採用を可決せり斯くて第二案に移りたるが高橋により次期民會まで延期を乞ふ旨述べ是にて散會せり

●市區改正建議可決　別項民會に於て字句修正の上可決採用せる京城市區改正に關する建議案は左の如し

一、總督府內京城市區改正事務局を新設せられたし

一、市區改正事業は先づ施設の大方針を定め道路河川公園官廳官衙市場劇場等の位置幅員を豫定し五ヶ年繼續事業として緩急に應じ之が成を期する事

●聯合會協議案　來る四月當地に開催すべき全國商業會議所大聯合會の趣旨は廣く朝鮮の事情を內地有力者に周知せしめ以て朝鮮開發の資に供せんとするは勿論にして從つて今後母國と朝鮮の間に密接なる利害の共通を計り上よりして相互意思を疏通して生產通商の發達を全せんにあるが今回當地商議所は朝鮮各會議所に向け協議案の提出其他準備等に付希望あれば來る三月十日迄に提出相成りたき旨の通牒を發したり

●會議所臨時總會　二十六日午後一時より京城日本人商業會議所臨時總會を開き當地に開催の筈なる日鮮大聯合會の順序及同提出事項並に會議所定款改正、會議所條繼等に關し協議すべしと

●仁川商議の流會　廿三日の仁川商業會議所臨時總會は出席者少數の爲め流會來る廿七日更に議員の招集をなす

●釜山取引所不認可　大池忠助氏外同港の紳商を網羅して發起人となしたる釜山米豆取引所設立願書は二十二日其筋より許可せずとの指令に接せり

●朝鮮貿易旬報　大阪神戶、門司、下關外十六港に於ける二月中旬の對朝鮮移出入貿易及一月以降累計は左表の如し（單位圓）

	二月中旬	累計
移出品價	一、四四一、〇八六	四、八六五、〇〇〇
移入品價	三三七、〇三六	二、四一七、〇〇〇
移出超過	一、一〇四、〇五〇	二、四四八、〇〇〇
移出金銀價	五五三	二、〇〇〇
移入金銀價	二五、〇六六	一、一五一、〇〇〇
移入超過	二四、五一三	一、一四九、〇〇〇

尙は右の內神戶、大阪、門司、下關の各港別移出入額を示せば左の如し

▲神戶

	二月中旬	累計
移出品價	一九四、六三五	一、二〇一、三〇七
移入品價	二一七、三一五	一、二二一、三七〇
合計	四一一、九五〇	二、四二二、六七七
移入超過	二二、六八〇	二〇、〇六三
移出金銀貨	七、六〇一	一三五、九九四
移入金銀貨	一〇一	五三四
合計	七、七〇二	一三六、五二八
移出超過	七、五〇〇	一三五、四六〇

▲大阪

	二月中旬	累計
移出品價	三六六、九〇八	二二二、五一三
移入品價	四六六、三三五	三二一、六七一
合計	八三三、二四三	五四四、一八四
移入超過	九九、四二七	九九、一五八

▲下關

	二月中旬	累計
移出品價	一、〇九二、七四六	二、七三七、二〇八
移入品價	三七、一二〇	三五五、三二五
合計	一、一二九、八六六	三、〇九二、五三三
移出超過	一、〇五五、六二六	二、三八一、八八三

▲門司

	二月中旬	累計
移出品價	八七、六五一	二七一、六二一
移入品價	八、二一三	五〇、六〇三
移出入合計	九五、八六四	三二二、二二四
移出超過	七九、四三八	二二一、〇一八

●總督府中學生徒募集　朝鮮總督府中學校にては來る四月入學せしむ可き生徒百四十名を募集す（寄宿舍設備）因に應募者は必ず四月二日午前九時迄同校に出頭し入學試驗及体格檢查期日並に受驗者心得を承合す可く尙郵券二錢前納同校へ申込めば入學願書用紙、履歷書、卒業證明書樣式等發附すべし

●萊藩書伯の個會　渡邊萊藩書伯來京に付同縣人發起となり來る廿六日午前九時より午後四時迄藤町三丁目有明樓に於て抽籤畫會を催すよ御作品は公衆の縱覽に供し當日は萊藩氏及天皋神來氏席上揮毫をなすよし

公人私人

▲君塚三郞（全州慈惠醫院長）廿三日入京浦尾

▲波多野承五郞（三井理事）同上天眞樓

▲小藤文次郞（大谷敎授）同上

▲岡村六之進（平安道銀行海州支店長）廿三日仁川へ

▲小鹿島鐵（農銀開城支店長）開城へ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　二十三日の分
乘車客　六六二　下車客　六七〇
乘車賃金　一六四七、四七
▲南大門驛荷扱高　二十三日の分
發送　六七噸　到着　三三九噸
貨物賃金　五三九、〇四
▲龍山驛乘降客　二十三日の分
乘車客　一九二　下車客　一八六
乘車賃金　二八三、一三
▲龍山驛荷扱高　二十三日の分
發送　八噸　到着　二〇一噸
貨物賃金　三六七、五四

▲京城手形交換高▼

二月	金高	枚數
廿四日	九六、七四五、二一	二六〇

▲二十三日民會雜觀　今回の民會は居留民全般の休戚に關する稅率問題ある爲か傍聽人が森々と詰掛て殆んど空席なきの盛況▲本會議に先ち民長より協議會を請求して本町一丁目入口十餘坪の買收と續々延を接して渡來する觀光團歡迎の爲め豫算計上の相談を持ち掛けた▲待つて居ましたと言はんばかりに深水淸君が飛び出して京城日報社主催の觀光團を吹聽し民長に合槌を打つた傍聽の一人之を聽いて能くも圖々敷彼んな事が言へたものだ▲愈々本幕が開かれて提出案に對する民長の說明となる曰く稅率に大改正を施し細民稅に屬する汚物稅を廢したが差引勘定すれば增稅じやないと言ふ▲皆川廣濟君辛辣の辯舌を振つて現行稅率と比較を試み大に增稅の點あるを指摘し是でも增稅じやないかと一喝する▲次で大村保太君が現はれ汚物稅を廢した缺陷は何稅に依て塡補するか又民長は自然增收を財源と算へたが果して幾干くあるか承りたいまでは宜かつたが同時に歲出の自然增額如何と叫べるは豫算の根本義を知らぬ愚問である▲夫れから吾もくと得手勝手の質問矢を接いで現はれ逆に底止するを知らざるの有樣▲時々發言權に就て七花八裂の論爭開かれ中にも振つて居るのは一番の大百君と九番の皆川君との爭だ議長は一番に許したといひ皆川君は九番だといひ大百君と皆川君が一緒に饒舌を議場は宛然修羅の混亂ソコで議長は大喝一聲遂に皆川君の發言を制止した▲皆川君の無念思ふべし果して大百君の演舌後發言を得て議長に喰つて掛かり最前の宣言を取消すか否らざれば速記錄を調査せよと迫る議長之に答へて許さない宣言だから取消す事は出來ない併し就任當時與々も斷つて置いた通り議長は未熟故不行屆の廉は何分御寬容を乞ふソコで皆川君宜し然らば寬容して遣はす……▲日程の問題は總て委員付託となり高橋君の國有財產下付に關する建議案付議され同君の提出理由說明其堂々たる恰かも御退之の論說を讀むが如し▲之に對し大百君曾我君中島君の遠慮論孰れも主意は棚から牡丹餅だが併し六ケ敷かろふ又民長も至難だといふ▲皆川君贊成者の一人として經費を求め何が六ケ敷しいか大百君の言へる朝鮮人の感情を害すとか曾我君の故伊藤公が如何言つたとか中島君の斯な事は大袈裟に唱ゆるものでないとか言ふのは恰かも政府者の言ふべき口吻で吾々は民團の利益になる事は如何なる要求をしても構はない又民長が此位の事を至難中の至難事だ抔とは何たる腰拔けだと怒鳴する▲散々火花を飛ばして討論終結其結果預り

▲相場電報（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（三月限）（前場）

神戶電鐵　寄引、京阪電鐵　同、大阪電鐵　同、紡績　同、大阪　同、電燈　同、東京　同、東株新　同、大株式　同、同直　同、取引　同

（不明）　三八、五〇　六五、三〇　六五、〇〇　六八、八〇　六八、三〇　一〇八、〇〇　一〇八、一〇　一一六、六〇　一一五、二〇　一三一、六〇　一三〇、六〇　一二九、五〇　一二九、四〇

（後場）　休會

▲大阪期米

●廿三日前場二月止十五圓六錢▲三月止十九錢▲四月止三十四錢▲後場二月寄十五圓七錢▲止五錢▲三月寄十九錢▲止二十三錢▲四月寄二十六錢▲止三十九錢

●廿四日前場二月寄十五圓七錢▲三月寄二十二錢▲四月寄三十九錢

▲仁川米豆取引

●廿三日後場　三月出來不申▲四月寄十一圓三十錢▲最高同上▲最低十八錢▲止二十二錢

●廿四日前場二月出來不申▲三月寄十一圓二十六錢▲最高低止同上▲四月寄十一圓二十二錢▲最高同上▲最低十五錢▲止二十錢

제635호 1911. 2. 25.

北里博士の講演



左は廿四日を以て着城せらるべき北里博士が去夜十七日大連ヤマトホテルに於て肺ペストに就て日清官民及び各國領事等に對し講演せられたる梗概なり

(前略)今回私が滿洲に參つて承る處に依りますると今日までに既に二萬頭近い鼠を處々から捕へ其中にはペスト患者の家から捕つた者もありましようが夫れを解剖の上檢鏡し又は培養すると云ふ細菌學上の試驗をやつて見たが一頭としてペスト菌が居らないと云ふ事である、して見ると今日滿洲に流行して居るペストは決して鼠族間に流行して居らぬと云ふてよい證據立る事が出來るのであるから

鼠狩は不必要

であります今日の處以何に鼠狩を企て撲滅し樣としても肺ペストは無くなるものでない若し温暖の時季となり鼠が潮時出て來まして鼠の間にペストが流行する樣になりましたらいざ知らず未だ今日の處では鼠の間にペストが流行せぬ時に當つて何も鼠狩に齷齪せむでも宜しい充分に其源を絶つと云ふことに注意しなければならぬ同じペストでも人類の身体に這入り込む經路に依つて

豫防撲滅

の方法を變へなければ効力がないのであります然らば滿洲の肺ペストは如何にして豫防撲滅し得るかと云ふ事が今日の問題になつて居りますが私等に云はせますれば即ち事理上から云へば

此位容易い事

はないと思ふ何故ならば鼠と云ふ厄介な動物に蔓延して居つて夫れから人に傳染すると云ふ事になれば非常に困難でありまする我々が十數年以來鼠と戰爭して何時も敗北して居るではありませむか(中略)然るに此滿洲の肺ペストは現在鼠に感染して居りませんからこれを豫防撲滅するに

鼠を捕る苦勞が無い

から實に容易な事である唯患者を見つけさへすれば其病源を絶つ譯けでありますから、成る丈け

患者を早く見つけ出す

と云ふ事に注意をする事が非常に必要である而ふして見附け出したら患者は無論其家族を隔離して一定の期間を過ぎ健康者と認めた上平素の通りにやらせると云ふ事にすれば宜しい、それから

空氣傳染の憂は無い

のだから何も騷ぐことはない元來肺ペストと云ふものは空氣傳染と云ふことは斷じてありませぬからペスト流行

地とても自由に歩行

して差支ありませぬ、ペスト菌が塵芥と混じて飛散するのは乾燥した後でなければ空氣の中を浮遊しませぬ浮遊する時はペスト菌は最早死むで居る此菌は濕つて居る時でなければ感染力がないのでありますから聞ふ

恐怖するに及び

ませぬ餘り恐怖しますと

神經衰弱

の原因ともなりますから御注意なさる樣に願ひます(中略)斯う云ふ時には狼狽するものである醫者が狼狽すると云ふことは甚だ耻かしいことであるが動ともすれば狼狽する況して素人の人が狼狽せらるゝのは無理のない事であるがますがペストの流行する處から來た野菜類を禁するとか又食物を禁するとか生物を食ふとか何とか恐にもつかぬ事を遣つて居らるゝ之れを學者の眼から見れば抱腹絶倒に堪へない事と云はなければならぬ何故ならばペストは決して虎列拉の如く消食器から這入るものでないからであります云々

活動寫眞 覆面子

二十四日 朝の南大門驛

晴れ切つた朝空の風は寒い、路上の鮮人、白く黒く群集して、鷄籠を覗き玉子苞を弄して喃々喋々、泰平の逸民、悠々として春風に擶る、あゝ、長安の大道、輿車橫はつて雲鬢薫り、狹斜の欄外、月黛冴へて紅粉飛ぶ、繁華の子たる豈只だ天津橋上に逍遙せしに止まらんやである、

停車場裡、官帽制服の男醉歩蹣跚恰かも淡路島山、浪に漂ふ千鳥の如く女優律子のダンスも物かは、予は私かに彼れを淺草公園の六區オペラ館に備入れしめたく思つたのである、

待合室の暖爐暖かにして、多くの手と手は重なり合ふ左右にトランクを抱へて悠然たる男は花田義雄と名刺に知られた、一輛の荷車は重なる行李を搬び入る〻新井幾馬の本札が緑へつて構内の活氣は一刻々々に增加し行く、が、惜ひ哉知る人の士に乏しく、予が不文の筆は澁滯して讀者に負するを恥るのである、

いゝいゝいゝ、午前九時、同九時十分、南出北行の列車は平々淡々の春景を殘して遠く進み去つた、掌中玉を逸するが如く佇立すれば天は晴れ氣は澄む翳然として驛前に出で遙かに連峯を望めば千年不磨の天然美は俗眼俗腸を洗はしめて憧景の念、轉た切なるものがある木覓の山、漢江の水、老松落々、扁舟泛々、あゝ予は泰平の逸民を願ふ。

秘戀腕の文身

▽胸に彫りし君が面影

滄海中に入りて蛤となり田鼠化して鶉となる譬へも古きことながら箱入娘の高島田文金の黒髮房々と世にも稀なる美貌とて京城一よ美人よと艷辨ひ妻君裏家の女房の噂さは噂さに羽翼を生じて女ながらも見惚るゝ變に生み落した父母の滿足さこそと思はるゝは南米倉町の或る質店の一粒種

秘藏娘

綻び初めし初花も今を盛りの二十の春を迎へては能き嫁金より初孫よと兩親さへも勿体なや臺に手を付き千言萬語の願言を厭ぢや〳〵と泣き沈む可憐なさに兩親もつい其儘に打ち過ぎける『少女不言花不語』朱唇結んで解けず春信通せず青春の血の燃へざるに戀に焦心る好色者の心緒は正に亂れて糸の如きぞ憂き。驚天動地人は知らざる渠女が

秘めたる胸の裡

落花情あらば流水豈情なからん渠女は二十歳である見よ柔肌一たび衣を脱する

白き腕の左をば一點の文身

自から其秘を語るらん、箱入娘が白無垢蠟火か近寄る御方、夢にも戀を語り玉ふな

菊屋 文の助の東上

▽駒ヶ嶽の橫綱問題に付

五月場所を以て太刀山が橫綱を張るやに決定したるより贔負は與望實力伯仲の間にある駒ヶ嶽の來る五月場所にいよ〳〵谷風を襲名すると同時に橫綱を張らしむべしとなし去る十九日駒ヶ嶽例會を本所緑町の同人方に開き協議の結果菅原、中鉢、本堂の三氏を角力協會への交渉委員に上げ運動を開始したる由を耳にせし菊屋の文の助は

夜添ふても妻は妻、所夫の大事を妻として

ヨソーに見て居てなるものかテケテッテと喇叭入で猛然蹶起し近く東上して運動委員を激勵する所あるべしと『聞くーもなかく〻殊勝なりテケテッテ』

●日鮮人土工の判決

▽關係者六十名の有罪

稀有の大事件として當時世人の耳目を聳動せしめたる山梨縣北部留部柳川村地內東京電燈會社第二水力發電所工事場に於ける日鮮人土工大爭鬪事件に關する日鮮人土工三十六名朝鮮人土工二十七名に對する判決は去る二十日甲府地方裁判所に於て左の通り言渡しあり

▲朝鮮人懲役十五年尹錫振(三十)同二十年鄭鳳述(二十)同十二年劉金三十圓朴聖都(二十六)同十ヶ年鄭鳳學(二十)同上朴益順(三十)同上金億先(二十四)同一年朴達守(二十四)同十ヶ月曹龍出(二十)同八ヶ月李德三(三十)外十七人▲內地人懲役十年神田寅藏(三十七)同上神田伊吉(四十)同一年六ヶ月松本萬吉、同一年增田哲雄(三十)同上宮明八重吉(四十)同十一月松下太治(二十一)同八ヶ月菅德治(二十一)同上熊谷安太郎(四十)同上仙動田清市(二十)同上神田茂四郎(三十)同六ヶ月大野德內(二十)外二十三人無罪山田茂四郎(四十)菅野太利治(五十)佐藤太吉(三十)

●仁川蝸甫の檢梅 廿三日仁川花開洞蝸甫組合に於て當地警察醫久木田醫師出張三十名の檢梅を施したる處有毒者四名他病三名にして健康者は廿三名なり今回其筋にて登樓者の便利を謀り一般健康者には木札を與へあれば其邊に注意あれとの事

●仁川敷島の新妓 仁川敷島遊廓第二敷島樓にては今度雲鬢花顔蓉窕の美妓招雇せしと聞きれ里を尋ぬれば熊本縣天草郡鬼池村平民濟次妹にて宮崎さの(二十)藝名を靜子と稱しいゝ今晩は

●蝸甫を無錢買よ 宮城縣人當時住所不定柳川喜助(三二)は一定の住所職業なく諸所を徘徊する浮浪者なるが二十三日午後一時頃太平町の酒幕に於て蝸甫を買ひ代金四十錢を拂へず南部署に突き出され取調中

●詐欺 熊本縣上益城郡大島村大字上島當時吉野町一丁目森島市彌太(四九)は昨年十二月齊坂町居住矢野りゐと稱する寡婦を詐き貸金を世話すると稱し金七十五圓を騙取西大門分署に訴へられ取調の上檢事局送り

●橫領 本町二丁目佐藤牧雜貨店々員福岡縣人平岡久吉(二四)は昨年九月より本年二月二十一日迄賣掛代金八十餘圓を橫領費消南部署に告訴され檢事局へ送らる

●盜難 仁川濱町二丁目雜貨商片山寶藏方店棚に置きありし醬油一斗入代金三圓九十錢のものを二十日午前後頃窃取せられ旨屆出でたりと

●雛朝顏種の分讓 該種は最も早咲種なり花色は紺無地及三色絞り等にて藥香高く夏季衛生上必適と認むる珍花なるも未だ一般へ普及し居らざるを以て今回信州下高井郡延德村農藝普及會にては多數培養し雛朝顏及び雨龍葉柳葉捻梅咲桔梗茶臺咲大々輪等種類分を十種混合採種を百十種を實費十五錢にて一袋と一組と一袋代送費共實費二十五一般へ配布すると云ふ

●各署の鼠買上數

廿三日各署捕鼠買上數西大門分署二六三東大門分署三三八南部署一七八水門洞分署五〇二龍山警察署二九六北部署一七八銅峴分署一四五龍山憲兵分隊二三にして五圓四十三錢なり

●仁川捕鼠買上 廿三日は百八十一頭

●演藝だより

●壽座 破格大勉强の觀劇料と御當地初見の揃ひも揃つた新顔ぶれ彼れに結梗の風情あらば是れ海棠の趣き有り何れが燕子花、菖蒲と見分け付かぬ新派眞劇立志團一座々今や大好評の裡に更に觀客の滿足を與ふ可く數多藝題中より特に撰びし廿五日の藝題は『通夜物語』同十場にて重なる配役はれいらん丁山(郡)玉川清(村山)同重兵衛(靑山)久世友房(北村)同操(寶井)全じゆん(花浦)同すみ(藤島)篠山六平太 加藤 吉村鐵造(花島)細母繁(淺井)馬丁平助(二三三)

●歌舞伎座 連日大入好況なる男女合併劇廿五日替狂言は前『天神利生記夢譚』前日の續切『伊勢音頭戀の䲔刀』尚役割は太山太郎、石垣兵衛、福岡貢(正三郎)忠兵衛、娘吉野江、中間新七、れ岸(福司)女房蛸れ辰、油屋れこん(淺吉)田坂彌十郎、佛庄三、三保松濟五郎、仲居萬態(尾之吉)鈴木源吾蟹の御八(島十郎)森田傳作、原田軍次兵衛、岩治(花笑)宮木左門之助、料理人喜助(鶴二郎)

●京城座 好評の兄弟義團廿五日の藝題は幽芳作『乳姉妹』通し入場料廿五錢均一にて尚割引券御持參の方は十五錢夫婦券は二名迄二十錢の由配役は松平老公(岩村)同照信(吉井)藤堂子爵(花房)田川君江(堀江)同居江(東)同濱菓森百合子(江見)久米番伯(谷)車夫仙吉(塚本)高濱勇(松澤)綾小路大尉(藤澤)三室滋(小泉)

仁川商店めぐり

宮町 小林倉二郎商店

氏は奈良縣の人明治三十九年當仁川に於て斯業を開業せし者なるが翌四十年には不幸にして祝融子の襲ふ處となり全部灰燼と化し損害又尠少に非ざりしが資本豐富なる同店の事なれば間もなく現在の大店舗を建築し廣く朝鮮內各地に販路を擴張し昨四十三年度には賣上金高十九万圓餘なりとし又盛なりと云ふべく商品の重なるものは綿布にして其他和洋諸雜貨食料品諸雜貨文房具等あらゆる商品を網羅せり店頭には數名の店員移出すべき商品の荷造りに忙しく立動き居る有樣は到底不景氣の何處にあるや想像に苦む處なり

▲平民文園▼

▲我利〳〵主義の世の中に僕は珍らしい紳士を見た去る廿日午後七時頃だ丁度電車が古市町を發し龍山に向ふ途中一人の職人体の若者は小錢の持合が無い爲め紙幣で賃金を仕拂はんとしたが生憎車掌もつり錢が無いので頻りに下車を命じた急用を帶びて居た職人は、先方に行つたら何とか都合するからと云ふに車掌は不可と云ひ右や左や五分間も停車した他の乘客は甚だ以て迷惑だ、折柄判任正服を着した一紳士は自己の乘車券を一枚切つて彼に與へた、電車は進行し始めた、僕は窃に敬す可き紳士だと思つた(天洋生)▲京城にて柔術の稽古着及び竹刀を販賣せる商店と町名御教示を乞ふ、耻しい次第だが仁川には右販賣店なし尚直段迄れ敎へ下さらば更に難候(道塲守)▲京城本町二丁目の某足袋屋よ、廣告許り能で無い客に親切に萬事商店に改良を加へよ(客人)▲某妻君よ大賓を授と旅館を立つるは大に贊成だ然し共同で遣るのは考へ物よ目下奔走さする者は獅子心中の虫なれば決して彼の毒舌に罹らぬ樣注意あれ同人の妻は淫賣上りにて妾の一寸十三年も爲し、海千山千の金搾付、仲々の危險物、篤と注意あれよ(婆心生)▲私の懇意先に七才の男兒があつて非常に賢い兒ですこの四月から學校に行くとて悅んで居るし親方も入學させ度いと云つて居ますが實は三月の末に生れたのに戶籍には四月七月になつて居るから入學が出來ないだろう記者さん何どかして入學さして遣る事は出來ないですか御尋ね升(竹園町愛讀者)▲サアー……(小僧)▲去年の夏頃潰れた料理屋に居た藝名で本名れぬい(三五)と云ふ女は顏の附の浮氣者其當時僅か三四ケ月の稼中、銀行員石川、請負師三ヶ尻、商人池田、店員井上、腰辨原口の面々を遍遍無く濟度して隨喜の淚をこぼさせたが中原の鹿は遂に井上の手に落ちてより爾來半歲其消息を聞かなんだが蛟龍は永く地中のものにあらずで此奴何時の間にやら同家から飛び出し今じや某をばやに潜んで將遊次郎を惱し博愛主義を振り廻いて居るとか去りとては前の男の器量のわるさされ氣の毒やら笑止やら(見聞印向)▲仁川民團役所某技手で此間某所で測量の際機械の目鏡の口に紙を張り先きが見へますかと云ふた、僕は思つたあれでも技手とは驚いたわ(實見生)

神戸海上運送火災保險株式會社 第四期營業報告

資本金 五百萬圓也
諸積立金 四拾八萬餘圓也

明治四十三年十二月三十一日 貸借對照表

負債

株金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	一〇〇、〇〇〇・〇〇
社員積立金	八、一六九・一七
假受金及未拂配當金	三、七一九・五七
未拂再保險料	六二・一六
責任準備金	四一五、一九一・〇〇
支拂備金	一二、三六七・九二
營業期利益金	一六一、九三三・八二
合計	五、六一一、三四三・六四

資產

未拂込株金	三、七五〇、〇〇〇・〇〇
有價證券	一七、五〇〇・〇〇
貸付金	四八七、九七七・〇九
預ケ金	一、一三三、三二二・二三
地所家屋	六五、〇二〇・四五
備品	二〇、〇〇〇・〇〇
支店、出張所、代理店勘定	一二六、二八九・六九
未收保險料	九、九七三・八八
共同保險立替金	
託送金假拂金	二、〇一一・一五
現金	二四九・一五
合計	五、六一一、三四三・六四

損益計算書

收入	一、九八七、一二一・八四
支出	一、二〇四、七四〇・四〇
差引當期殘金	七八二、三八一・四四
內 責任準備積立金	四一五、一九一・〇二
內 支拂備金積立金	一二、六七九・九〇
再保險引當金	三五四、二二二・五二
內割當期收支不足金	一九二、九八八・七〇
差引當期純益金	一六一、九三三・八二

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定積立金	一〇、〇〇〇・〇〇
役員以下賞與金	一六、〇〇〇・〇〇
株主配當金（年八分）	一〇〇、〇〇〇・〇〇
後期繰越金	三五、九三三・八二

右之通相違無之候也
明治四十四年二月
取締役社長 岡崎藤吉
取締役 伊藤長次郎
取締役 辰馬吉左衛門
取締役 岸本豊太郎
取締役 百崎俊雄
常務取締役 田中省三
常務取締役 吉田長敬
監査役 小曾根喜一郎
監査役 梅浦精一
監査役 原田十次郎
監査役 板谷宮吉
監査役 土橋多四郎
前記各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也
監査役全員滿期改選ノ處孰モ重任セリ

種苗木

農具、農書、禽畜

營業案内
ハガキ御申込次第無代贈呈



東京内藤新宿電車終點
日本種苗株式會社

◉貸金 有給者には極秘密に低利融通可申候
旭町二ノ一五別府組車帳場向小路 高橋

日本大學學生募集

大學豫科 法科 高等專攻科 商科 殖民科 高等師範部 師範研究科 外國語專修部

學年 各科共四月より新學年を開始す
特色 試驗は科目制度にして年三回施行す授業は豫科の外凡て午後四時半以後
特典 徴兵猶豫、中學教員無試驗檢定判檢事受驗資格
稱號 日本大學法學士、日本大學商學士、日本法律學士
講師 高等文官判檢事辯護士試驗委員及帝國大學其他諸官立學校教授博士學士數十名

●詳細は規則書にあり入用の向は郵券二錢送附の事

▲新設 高等師範部 商業科 政治科
教員養成の目的●修業年限三ヶ年●甲種商業中學師範卒業生は無試驗入學を許す

東京神田 日本大學 電話本局二四〇九 振替東京八四〇九

日本高等豫備校學生募集 新學年四月開始

目的 高等學校高等商工業學校其他の官立專門學校に入學豫備教育を施すを目的とす
講師 講師は主として帝國大學第一高等學校高等商業學校學習院教授其他諸能の士之を擔當す

東京神田三崎町 日本大學内 私立日本高等豫備校

（尚詳細規則書にあり）

資本金五百萬圓

東京建物株式會社京城派出所

本店 東京日本橋區呉服町一番地
派出所 京城旭町二丁目百十五番戸 電話番號一六八一番

一、土地建物抵當貸附
一、月賦償却建物建築 建築費用は尤も薄利に請負申候又月賦償却金一千圓に對し五ヶ年とせば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候今や解氷期に近き候に付直接御申込を乞ふ

大聲發音器

日本蓄音器商會 日本 朝鮮 音譜 各種品揃

音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候



日本蓄音器商會朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町 辻屋 電話二四八番 振替口座八七番

野田齒科專門醫院

京城本町二丁目百三十銀行横 電話一〇四七番

文房具 和洋紙 事務器械

シノサキ本店

京城本町一丁目郵便局前
並貫次營業申候
電話六四八番 振替朝鮮一五四番

優等清酒



釀造發賣元 仁川港
吉金酒店 電話七六四番

萬歲齒磨



齒を白く、齒の根を固め口腔を清く、黴菌を鏖し
こゝちすがすがしうなりて
ひるのしごと、夜のねむり
皆すこやかなるは
たゞ是れ萬歲齒磨あるに依る

▲定價 ニッケル蓋付入五拾錢 ニッケル製振出器入卅五錢 ニッケル振出口瓶入弐拾錢 桐箱入拾貳錢、小袋入六錢

代理店 京城 新井藥房

入院隨意 六〇六號注射の需に應す

仁川病院

院長 醫學士 由利弘
副院長醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學 撰科專攻 菊池徹
藥劑士 常盤光雄
電話十六番

諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候 兼業

京城本町三丁目 大阪野村德七代理店 田中友吉商店 電話九三九

米國スタンダード製松印石油
下總國野田●印醬油
仁川日本醬油株式會社製●印醬油
下總國万上印味淋
尾張名古屋●印壜詰酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品（入浴用）
湯の花菓子（茶用）瓶入各種
灘銘酒櫻正宗山邑釀造
堅牢無比の國響足袋

特約店

雜貨部 京城本町六丁目 今藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
電話三〇八番 電話（タ）

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、鑵壽筵、味噌、鑵詰、干香、其他乾物類一式

世帶道具は何でも有り升

外に宅ノ酩酒手ヨリ白米、和洋ローソク上白シメ油、髙醬油ハ特約品

右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候

日用雜貨 卸問屋 京城本町六丁目 西崎嘉七本店 電話二百十番 電話（ニカ）又二 振替貯金口座韓國七番

義齒術全般

京城南山町二丁目（伊藤組南に入る）
小倉三郎 電話

家傳 名灸（といや）

●うちみ くじき はねつき
特に 胃腸病 かつけ 專門
毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戸 荒川マッサージ院

M.C.C.

士紙 耳卷 古賓

エムシーシー

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

京城、平壤龜屋——釜山、木浦、群山高瀨支店

統監府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

本町三 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
開城 電話一六〇八番

キ 二月中出帆廣告

海州行 天草丸 廿八日
安東丸 二十四日、廿八日
鎭南浦行 富里丸 二十四日
三省丸 廿四日、廿六日
千葉丸 廿四日、廿六日
成歡丸 廿四日、廿六日、廿八日
宿島
千葉丸
成歡丸
三省丸

仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部

入院隨意

內科 外科 小兒病 梅毒淋病

京城壽町三丁目 高井醫院 電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

眼科

日曜及祭日は午後二時迄

京城本町二丁目 江頭眼科醫院（電話三十三番）
前濱城病院眼科部長 醫學士 江頭富雄

富士の雪印

白酒

四斗五升詰、半樽、四合瓶詰 二合瓶詰其他共賣出仕候間不拘多少陸續御注文の程願上候
右は今年試釀致し

㊣ 仁川本町三丁目 那波酒店 白酒釀造部 電話三三番

恩給年金 諸公債 現物賣買

確實取引月一步五厘
京城中部壽洞坊相思洞廿九統七戶鍾路通り東洋生命保險裏丁博多屋
上州屋支店 電話九百五番

純良 消毒牛乳

京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

佐賀セメント

今回販賣致し候に付多少に不拘御用命被仰付度奉願候

佐賀セメント株式會社 京城代理店 南山町一丁目 山村鐵店 電話三四四番